

# 人間としての生き方についての考えを 深めることができる生徒を育てよう



展開後段や終末において、生徒一人一人が教材から学んだ道徳的価値と照らして、自己の生き方を見つめ、振り返ることが重要だと考えました。そのために、導入では問題意識をもって学習できるように学習課題の設定を工夫しました。また、展開前段では多面的・多角的な思考を促し課題を追究できるように板書を工夫しました。そして、展開後段・終末では、自己の生き方を見つめる活動を設定しました。

## 研究の概要

### 見通し1 (導入) 生徒との対話による学習課題の設定

思いやりの心もち、人と接しているでしょうか？

大事だと思うけれど、いつもはできていないな。

できている時とできていない時があるのはどうしてでしょうか？

今まで、あまり深く考えていなかったな。

〈学習課題〉  
思いやりとは何だろう

人にやさしくすることかな？

みんなは、どう考えるだろう。

必要性や必然性が生まれ、問題意識をもって、学習に臨むことができます。

ねらいと関わる生活体験を想起させる。

対話を通して、問題意識をもたせる。

生徒の問題意識をもとに学習課題を設定する。

### 見通し2 (展開前段) 多面的・多角的な思考を促す板書

#### 意見交流を活発にする場合

(賛成) 心のものさし (反対)

名前アハト

名前アハト

名前アハト

名前アハト

名前アハト

名前アハト

〔立場を比較整理〕

#### 道徳的価値の理解を深める場合

- A君の考え - D君の考え  
- G君からの補足

・ C君の考え

・ B君の考え

- F君の考え

・ E君の考え

〔考えを分類整理〕

僕と同じ賛成の人の理由は同じかな？聞いてみたいな。



反対の人もたくさんいるな。どんな理由からだろう。

相手の気持ちだけではなく、状況にも配慮することが大事なのだな。



誰にでも感謝の気持ちをもつことが大切なかもしれないな。

立場や考えを整理して板書に示すことで、多面的・多角的な思考を促す。

可視化された立場や考えを踏まえながら話し合い、学習課題を解決することができます。

### 見通し3 (展開後段・終末) 自己の生き方を見つめる活動



みんなで思いやりについて考えてきました。それでは、思いやりについて自分を見つめてみましょう。



これまで身近な人には、思いやりの心をもって接していたな。これからは、誰に対しても思いやりの心をもって接したいな。

深まった道徳的価値と照らして自己の生き方を見つめさせることで、これからの思いや課題について考えさせる。

人間としての生き方についての考えを深めることができます。



見通し 1

(導入) 生徒との対話による学習課題の設定



きまりや規則をいつも守っていますか？  
守れているときと守れていないときがありました。

きまり・規則に関わる生活体験の想起



なぜ、きまりや規則があるのでしょうか。  
みんなのためかな？そういえば、きまりや規則の意味や大切さを深く考えたことがなかったです。

問題意識をもたせるための対話

〈学習課題〉

きまりや規則がなぜ大切なのか考えよう

きまりや規則の大切さってどんなことだろう？

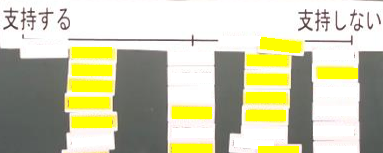
身近にあるきまりや規則の意義について、問題意識をもって、学習に臨むことができました。

見通し 2

(展開前段) 多面的・多角的な思考を促す板書

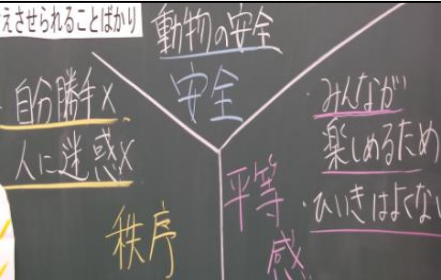
意見交流を活発にする場合

元さんが姉弟を入園させた判断をあなたは支持しますか。



主人公の判断についての立場を比較整理

道徳的価値の理解を深める場合



きまり・規則についての考えを安全・秩序・平等感の視点から分類整理

授業後の生徒の感想から

違う立場の人がたくさんいて、こういう考えもあるのかと広い視野で考えられました。  
違う視点から考えた意見がたくさん知れて、きまりについての考えが深まったと思いました。

多様な立場から活発な意見交流が行われました。また、きまりや規則がなぜ大切かについて、多面的・多角的に捉え、話し合い、学習課題を解決することができました。

見通し 3

(展開後段・終末) 自己の生き方を見つめる活動



これからの私はきまりの大切さをよく考えて生活していきたいな。

ワークシートを用いた自己の生き方を見つめる活動

生徒のワークシート

判断をしっかりと、  
将来はみんなに平等なルールが作られてほしいです。

きまりを守ることで、学校や社会の秩序の保たれることに気付きました。きまりを守るからこそ色々なことが出来ると思った。

一人一人が、きまりや規則の大切さに照らして、自己の生き方を見つめました。社会の秩序と規律を守ることにより、個人の自由が保障されることに気が付くなど人間として正しい生き方やより良い生き方への自覚をもつことができました。

研究の成果



- 生徒との対話を通して学習課題を設定したことで、最後まで意欲的に学習に臨みました。
- 展開前段で、生徒の立場や考えを整理し、視覚的に捉えられるよう板書を工夫することで、多面的・多角的な思考を促すことができ、話し合いを通して学習課題を追究することができました。
- 自己の生き方を見つめる活動を設定することで、読み物教材から離れて、人間としての生き方についての考えを深めることができました。